



2018年日本語教育学会秋季大会(沼津・フラス ヴェルテ) チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに-

チャレンジ支援委員会では、2016年度より大会会場で「わかば」なあなたが参加できる各種プログラムを用意しております。ぜひご参加ください!



「わかば」なあなたとは (非会員も大歓迎)

- * 日本語教育を学ぶ学生・大学院生の方
- * 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- * 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみみたい方など…

わかば・コンシェルジュ

◆11月24日(土)12:00-16:00 1階コンベンションホールAホワイエ, 25日(日)8:45-14:00 4階402小会議室前
「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。大会参加記念に写真撮影も可能です!

わかばさんいらっしゃい ◆11月24日(土)12:10-12:55 2階201小会議室

「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストでご紹介するオリエンテーション。
開会式会場までご案内もします! 昼食持参でぜひお越しください。

ぶらさ da わかば ◆11月25日(日)12:10-13:20 2階201小会議室

皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間、自由に対話してみませんか。当日11月25日(日)午前9時に「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを受け付けます。先着順ではなく、9時の時点で集まった方で抽選を行います。9時の時点で全員埋まらない場合は引き続き開始時間まで受け付けます。センパイの詳細については、次ページ以降をご覧ください。

問合せ先: 公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail: challenge@nkg.or.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL: 03-3262-4291

※最新情報は、twitter (@NKGkouhou), 日本語教育学会 Facebook (公益社団法人日本語教育学会) で!



ぷらさ da わかば センパイリスト

《日時》2018年11月25日（日）12：10～13：20

《会場》プラサ ヴェルデ 2階201小会議室（日本語教育学会春季大会会場）

《申込》当日11月25日（日）午前9時に大会受付近くに設置する「わかば・コンシェルジュ」にて抽選を行い、優先順位順に話したいセンパイを選んでもらいます。なお、午前9時の時点でセンパイ全員が埋まらない場合には、午前9時以降も引き続き申込みを受けつけます。

	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
1	うつみ ゆみこ 内海 由美子 山形大学	地域日本語教育（特に結婚移住女性）について考えて来ました。近年は、「保護者の心の安定は子どもの笑顔につながる」と考え、外国出身保護者と幼稚園・保育園とのやりとりを支援するための研究をしています。
2	おがき えみこ 小笠 恵美子 昭和音楽大学	大学院在学中にマレーシアで日本語を教え、以後、国内で日本語、日本語教育、表現法などのクラスを非常勤で担当してきました。どのような働きかけで、学習者がよりたくさん、創造的な言語活動ができるかにずっと興味を持っています。
3	かめた みほ 亀田 美保 大阪YMCA 国際専門学校	私は日本語学校で留学生に日本語を教えています。多くの若い方々に日本語教師として活躍していただくため、日本語教師の魅力を存分にお伝えしたいと思います。よろしくお願いします！
4	こもり まり 小森 万里 大阪大学	作文教育や作文のための文法教育に関心があります。私自身、書くことが苦手なので、作文に自信がないという学習者の気持ちはよくわかります。彼らに「書くことが怖くなくなった」と言ってもらえるような研究や教材作りを目指しています。
5	きかもと ただし 坂本 正 名古屋外国語大学	アメリカと日本で日本語教育を行ってきました。現在は、第二言語としての日本語の習得研究と教材開発と口頭能力テストの開発に興味があります。卒論、修論、博論の指導などを通して、学生さんたちと楽しく過ごしています。
6	しまだ かずこ 嶋田 和子 アクラス日本語 教育研究所	これまで日本語学校・大学など様々な現場で日本語教育に関わってきました。特に、教師教育、会話教育、教材開発に力を入れ、「人・社会とつながる日本語教育」を目指しています。また、介護の日本語教育に関心があります。
7	たていし はじめ 蓮石 始 神戸女学院大学	現代日本語の記述文法や日本語教育文法に関する研究を行ってきました。最近ではコーパスを使った語彙・文法研究、特にコーパスを使った日中対照研究に関心があります。また、中国語話者のための日本語教育研究会の運営にも携わっています。
8	きのしたちひろ トムソン木下千尋 豪州・ニューサウス ウェールズ大学	米国、シンガポールを経て、豪州の大学で教えています。日本語プログラムを実践コミュニティに見立て、海外の学習者に日本語を使って人とつながる力がつくような学習環境をデザインし、学習者が活躍できる場を目指しています。
9	なかい よしお 中井 好男 同志社大学	農学部出身の私が様々な「出会い」を経て、大学教員として、ことばを学び・使う人たちと関わるできるようになりました。ことばそのものよりも人に関心を持ち、自分にできることは何か質的研究を通して考えています。
10	なかお ゆき 中尾 有岐 国際交流基金	日本語学校、大学非常勤講師、タイ高校、国際交流基金の指導助手（ブルガリア）、派遣専門家（タイ、マレーシア）等を経て現職。派遣専門家時には、海外中等教育の教師研修や教材作成、学習者支援等に携わり、今も興味を持っています。

※センパイリストは次ページに続きます。



びらさ da わかほ センパイリストつづき



	お名前・ご所属 (敬称略・50音順)	プロフィール
11	めのお かついちろう 布尾 勝一郎 佐賀大学	EPA 看護師・介護福祉士候補者や介護分野の技能実習生に対する日本語教育をはじめ、「人の移動とことば」全般に関心を持っています。新聞記者業、海外バックパッカー生活を経てこの世界に入りました。将来の夢はゲストハウスオーナー。
12	むらさきよしあき 村澤 慶昭 武蔵野大学	主な専門は音声学です。現在は大学に所属していますが、日本語学校の専任・非常勤講師時代も長く、教科書や問題集の出版にも携わらせていただきました。現在はビジネス日本語の他、地域日本語教育や年少者日本語支援に関わっています。
13	よしかわ とある 吉川 達 佐賀大学	日本語学校勤務、マレーシアへの派遣を経て今は大学で日本語を教えています。読解教育の苦い経験から、読解能力とは？それを養うには？測定する方法は？ということの研究テーマにしています。最近が多読が熱いです。
14	りゅう しい 劉 志偉 埼玉大学	自分自身の学習経験を踏まえつつ、当時「こういった項目またはポイントを教えてほしかったなあ」「このように教えてくれたらもっと分かりやすかったかも」といった学習者の視点から日本語教育について考えています。

以上